



連合駿台会報

No.361 令和5年7月15日発行
発行・編集 連合駿台会

発行人 広報委員長・齋藤柳光
編集人 事務局・矢嶋まゆ子
〒101-0052 千代田区神田小川町三十二
明治大学「紫紺館」内
電話 (〇三) 三二九六―四七四七
印刷 有限会社 美創

第六十九回連合駿台会総会を開催

第六十九回連合駿台会の通常総会が、令和五年五月十九日、ロイヤルパークホテル「春海の間」で開催されました。

開会に先立ち、田村会長から次のような挨拶がありました。

まずご挨拶の前に、昨年度に亡くなられた四名の会員の皆様のご冥福をお祈りしたいと思います。

本日は雨が降って大変足元の悪い中、大勢の方々にご出席いただきましてありがとうございます。まず始めに嬉しいニュースです。東京六大学野球春のリーグ戦で、明治大学は早稲田大学を破って、優勝いたしました。昨年の春・秋、そして今年の春と三季連続優勝は、八十五年ぶりの快挙です。

さて本日の総会では、来る九月十四日に開催予定しております、創立七十周年記念事業がメインテーマとなります。このところあらゆる物価が高騰しており、当然予算も見直

しが必要となり、担当の総務・事業委員会の鈴木委員長をはじめとして交渉を続けていただき、後ほど発表される金額に落ち着きました。どうぞそのことにご理解をいただき、ご審議、ご承認を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

*

田村駿台会長は開会を宣言し、規約の第五章・第十三条に従い、会長が議長となり、議案の審議が進行されました。なお、第一号議案・第二号議案は関連性の高いものであるため、両議案の説明後に一括して質問を受け、その後決議に入りたいとの提案が議長からあり、異議なく承認され、審議に入りました。

○第一号議案

令和四年度事業報告書、収支計算書、貸借対照表・財産目録の報告、ならびに監事による監査報告承認の件

▽令和四年度の事業報告については、当山明彦専務理事から報告があった。

①総会・例会：第六十八回通常総会&例会

(五月十八日)。

②例会：七月・暑気払い例会

(七月二十一日)、九月例会(九月十五日)、

十一月・忘年例会(十一月十五日)、一月例

会(一月二十七日・サンセットクルーズ)、

三月例会(三月十五日) ③理事会：五回。④

その他(春期ゴルフ会(四月二十一日)、秋

期ゴルフ会(十月四日)、MBS勉強会(一

月十八日)を実施。正副会長会、および特別

行事等は、新型コロナウイルス感染拡大防止

を鑑み中止とした。運営委員会：五回、各委

員会)。④会報発行：五回。⑤会員状況：会

員数は、新入会員は二十八名(目標二十名)、

退会会員は二十名にとどまり、休会員から復

会した一名も含め、計九名の増加となり、三

年ぶりに増加に転じた。

▽令和四元年度の収支計算書・貸借対照表・

財産目録については、吉田光一郎財務委員長

より以下の報告・説明があった。

・「収支計算書」については、「収入の部」で

は、当期収入総額は2171万640円

(予算額1911万円・対予算比一一三・

六%)。内訳では年会費収入が1493万

円(予算額1420万円・対予算比一〇

五・一%)。例会費収入は586万円(予

算額400万円・対予算比一四六・五%)、

ちなみに前年は178万円だった。年初当

時、何度例会を開催できるかわからなかつ

たが、コロナ禍が急速に収束に向かい、例会出席者数常にも百名前後をキープし、ほぼコロナ以前のレベルまで回復できたことが大きかった。広告費収入は92万円（予算額90万円）で、かつ全額徴収できたことは、昨年同様十一月例会費と名刺広告費を同時に収集したことで、振込料のご負担を減らせたこともよかったのかと思われる。皆様方のご協力に深く感謝する。

・「支出の部」では、総務費は600万3841円（予算額605万円）でほぼ予算通り。事業費の各委員会運営費では、総務・事業委員会費が、1024万6939円（予算額610万円・対予算比一六八・〇％）とだいぶ上回っているようだが、これは例会費収入分が「収入の部」として計上されており、これが増えているので、事業費総額としてはほぼバランスが取れているという実績だった。その他の事業費としては、慶弔費七万円、予備費はなしで、当期収支差額をご覧いただくと予算が22万円に対して、実績が21万8996円で差額は1000円ちよつとということ、項目ごとにはプラス・マイナスがあるが、最終的な実績としては、収支予算通りという運営ができたと思う。次期繰越収支差額は、先ほども説明したように3754万6909円となった。

・「貸借対照表」では、左側「資産の部」は、

電話加入権を除いてすべてが、現金と預貯金で、合計が5555万8279円、右側の「負債・賞味財産の部」では、流動負債の源泉預り金が1万1370円、正味財産は5554万6909円で、内訳は有志寄付金1800万円がずっと繰り越しになっており、次期繰越収支差額は先ほど説明した通りである。「財産目録」に関しては、表示の仕方は違うが、貸借対照表とまったく同じ内容になっており、今後とも、健全な財務体質を維持していきたいと思う。

▽監査報告（小山修監事）

これらについて、規約第六章・第十八条の規定に基づき、令和五年五月十五日付けで小山修監事・渡邊建三監事が監査をした結果、会務の執行は当会の規約に従い、総会並びに理事会の決議に基づき誠実に行われており、一般会計はいずれも適正に処理されており、計算書類は本会の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認められた。

○第二号議案

各委員会令和四年度事業報告および令和五年度事業計画（案）・活動予算（案）、並びに収支予算（案）承認の件

▽総務・事業委員会 鈴木隆志委員長

△令和四年度事業報告

① 新型コロナウイルス感染症対策を丁寧

実施し、例会・理事会、運営委員会を行った。例会は着席方式として講演会と懇親会を同一会場で行う形式が定着した。結果として総会（講演も実施）と例会を四回、理事会五回、運営委員会五回を開催した。五月総会は児玉圭司会員、七月例会は北野大校友会会長、九月例会は三枝富博会員の講演を実施。十一月にはザリガニワークス氏、三月は藤城元東京国税局長を迎え有意義な会となった。マンドリン倶楽部一〇〇周年記念演奏や応援団のエンターテインメント等の楽しい演出も実施した。

③ 新規会員の定着、懇親のための事業としてシンフォニークルーズ（一月）を開催した。バス旅行、ラグビー観戦は中止。

△令和五年度事業計画・活動予算（案）

① 記念すべき連合駿台会70周年例会を「The Okura Tokyo」にて実施する。

② コロナ感染症対策を実施しながらの例会開催を目指し、引き続き事業を円滑に進める。

③ 例会出席者向上・親睦のために魅力ある楽しい例会の企画を検討する。

④ 新規会員の定着、懇親のための事業（ビジネス勉強会&グルメ交流会、新入会員歓迎会等）を、状況を勘案しながら開催する。

⑤ 会員相互の親睦会（スポーツ観戦、ゴルフ会）を開催する。

【活動予算】 1140万円（創立70周年記念例会費を含む）

※なお例会費等に関しては、実際の支出額と会費収入の差額を予算として計上

▽組織・会員増強委員会 高澤徹委員長

〈令和四年度事業報告〉

① 委員会の開催

六回開催（Web委員会二回含む）し、入会審査の実施と、理事会上程および持ち回り理事会（一回）等、速やかな承認手続きの遂行をした。

② 会員増強活動の推進

入会者：目標二十名

〈実績〉新規入会者〓二十八名、入会承認者〓九名

〈新規入会者内訳〉新社長就任等〓十一

名、会員ご紹介〓十七名

〈入会承認者内訳〉三月承認のため入会

手続き未完了〓九名

・令和四年四月一日時点の会員数：三百五十一名

・令和四年度の実績 退会者：二十名、入会者：二十八名〓八名増

・令和五年四月一日時点の会員数：三百六十名（休会〓復会一名を含む）

令和一年三百七十七名をピークに三年減少傾向であったが、会員の皆様から多くのご紹介を頂き、入会承認者を含めると三十七名の新会員を迎えることになった。

一方でご高齢、退職等を含めて二十名の方が退会された。（内〓逝去の方四名）

③ 会員の例会出席率の向上策の検討と実施
入会希望者の例会同伴者は十二名となり、会員拡大につながった。

〈令和五年度事業計画・活動予算（案）〉

① 委員会の開催

年五回を目安に入会審査の実施と速やかな承認（目標二十人）の手続きの遂行を行う。

② 会員増強活動の推進

新社長・役員リストによる入会活動と会員ご紹介を推進する。

会員ご紹介による入会希望者の例会同伴費用を無料とする。

③ 会員の例会出席率の向上策の検討と実施を図る。

過去三年の新入会員で例会無出席、または初回のみ出席等の方に対して、紹介会員の協力もいただき、出席促進を行う。

【活動予算】 15万円

▽広報委員会 斎藤柳光委員長

〈令和四年度事業報告〉

① 会のPRのために、会報とHPできめの細かい活動報告などを行うとともに、リーフレットを製作し会員増強に活用、念願のSMSについても実施態勢を整えた。

② 明治大学広報紙の大学支援広告とは、令和四年五月号から令和五年三月号まで、予定通り隔月で計六回掲載した。新入生を歓迎する会のメッセージや、例会の報告とともに、山田朝彦、佐野公哉両副会長

のリバティアカデミー講座への協力や、シンフォニークルーズなど幅広い活動を報告した。

③ 年賀名刺広告は個人八十人、協賛四社のご協力をいただいた。

④ 懸案のホームページのリニューアルについては、会員の協力のもとコロナ禍も乗り越えて九月に催される創立七〇周年パーティの詳細なども盛り込んで実行したい。今後を踏まえて、これまで以上にスマホ対応や動画インフォメーションなども可能な機能や新入会員希望者や内外の問い合わせ用に双方向性も充実させたい。

⑤ 本年度から実用化となるSMSを積極的に活用していく。

⑥ 明治大学広報紙支援広告を二〇二三年七、九、十一月、二〇二四年一、三、五月の計六回掲載するホームページのリニュー

⑦

⑧

⑨

⑩

アルについては、委員会で見聞交換などは行なったが、実施には至らず、本年度に再計上する。特に運営ツールとしての重要度も高まっており、機能の充実に検討を加えたい。

【活動予算】 354万円

▽大学支援委員会 伊原敏雄委員長

〈令和四年度事業報告〉

① 第二十八回学術賞・学術奨励賞は三分野の学術賞・奨励賞の募集を実施した。選考審査の結果は次の通り。

- a. 学術賞…社会科学 小林史明氏『法と文学——歴史と可能性の探究』
- b. 学術賞…自然科学 楠瀬博明氏『キラル物質の微視的起源と機能設計に関する研究』
- c. 学術奨励賞…人文科学 浅間哲平氏『ブルースとアマチュア（失われた時）』

② 連合駿台会寄付講座は対面とオンラインにて実施。春期Ⅱ山田朝彦氏（彫刻家、日本芸術院会員、日展理事、連合駿台会副会長）、秋期Ⅱ山井大氏（株スノーピーク会長「好きなことだけ」を仕事にする経営）

③ a. フューチャースキル（FS）講座（商学部・経営学部）は、オンライン講義により会員協賛企業九社から講師を派

遣していただき好評のうちに講座を終了。
b. フューチャースキル（FS）講座の延長線である「商学部・経営学部学生対抗プレゼン大会」は、大学支援委員会の審査も合わせ、優秀賞・敢闘賞の評価を行い、表彰式を実施した。

④ 新入留学生向け「日本企業への就職活動支援」は、留学生の母国のコロナ事情により見通しが立たず中止した。明治大学のMBSの勉強会の実施（※MBA（経営管理修士）山村教授をお招きして、勉強会を実施）。

⑤ ホームカミングデーに協賛した。明治大学シェイクスピアプロジェクト『夏の夜の夢』『二人の貴公子』に協賛した。御茶ノ水文化祭に協賛した。

〈令和五年度事業計画・活動予算（案）〉

① 第二十九回連合駿台会学術賞・学術奨励賞はコロナ以前の内容にて実施予定。国の科学分野の強化に呼応して大学も研究の強化を図る。学術賞・学術奨励賞の拡大等、運営を強化する。

② 大学のアカデミーコモン講座の一つとして、連合駿台会寄付講座も春期と秋期に実施する。

③ a. フューチャースキル講座は、商・経営学部の九講座に講師派遣をして開始した。講師派遣企業は京王電鉄、りそな銀

行、山崎製パン、共同印刷、野村不動産、関電工、JA全中、住友生命の8社。三井住友海上、中村屋、時事通信社、NHK、あいおいニッセイ同和損保社は秋学期の講座に講師派遣予定。（敬称略）

b. プレゼン大会は、連合駿台会・商学部、経営学部共催で実施する。優秀賞・敢闘賞の選考は大学と連合駿台会で行い、表彰式を実施し賞状・副賞を授与する。例会で優秀賞・敢闘賞の受賞者講演も行う。

④ 留学生向け「日本企業への就職支援」は、就職キャリアセンターと開催を検討する。一方、ニーズが高いMBA講座の開催、並びに会員会社からの講師派遣などの支援を検討する。

⑤ ホームカミングデー、シェイクスピアプロジェクト、お茶の水文化祭の協賛については、本年も協賛する。

【活動予算】 392万円

▽財務委員会 吉田光一郎委員長

〈令和四年度事業報告〉

① 年会費収入は、当初予算の1420万円に対して1493万円となり、予算比73万円超過となった。

最近の年会費収入実績は、令和三年度1352万4000円、令和二年度は1

482万2000円である。

- ② 会費未納者数は三百六十名中二十八名(三百七十六名中四十八名)、会費未納率は七・八%(一二・七%)となった。前年度会費未納率に比してかなりの改善が見られた。

※(一)内の数字は、前年度末のもの。

- ③ 予算の執行状況は科目ごとの増減はあったが、当期の収支差額はプラスの21万8996円で予算比1004円の誤差にとどまり、財務的に健全な運営がなされた。

〈令和五年度事業計画・活動予算(案)〉

- ① 年会費収入、例会費収入、広告費収入等の収入額に対応した支出の予算管理の徹底のため、適切な情報の収集・会計処理等を行い、財産基盤が損なわれないよう、収支管理に努める。

- ② 年会費未納者に対する再請求方法を検討し、年会費の回収率改善に努める。

- ③ 財務委員会にて会費の再請求方法、当会資産の活用方法について協議し、より良い活動を目指す。

【活動予算】 8万円

【令和五年度収支予算(案)】

- ① 収入の部としては、年会費収入1620万円(新入会員入会金は二十名分60万円を含む)とした。例会費収入は890

万円、今年の実績が580万円なので、これに先ほどから説明の通り、九月例会が「創立七〇周年記念特別例会」であることで、増額を見込んでいる。

次の「七〇周年特別収入」というのは、特別な予算組をしている。800万円という数字を計上しているわけだが、これはいろいろと交渉をした結果、だいたいこれくらいのコストはかかるだろうとことで決めた。これは収入となっているが、皆さんからお金を徴収するというのではなく、今まで通り繰り越してきた前期繰越の収支差額金をここで取り崩した形にして、金額を明示するほうが、予算としては明確になるだろうということ、ここで800万円の収入という形で表現させていただいた。

その他広告費収入、雑収入を併せ当期収入合計は3411万円、先ほども説明した通り、昨年度末における次期繰越収支差額は3754万6909円だが、「七〇周年特別収入」で800万円を取り崩している、これを差し引いた2954万6909円を前期繰越収支差額の予算額という形で計上、当期収入合計は6365万6909円ということになる。

- ② 支出の部では、総務費は595万円で、ほぼ昨年度の実績を踏まえている。事業

については、各委員会運営費は委員長から説明をいただいた予算額を計上している。ただ一つだけ総務・事業委員会費の金額については2030万円になっているが、例会費収入の890万円と両立になっているので、この分を差し引くと、まったく同じ1140万円という数値になる。これは同委員会の活動予算の金額と一致している。各委員会運営費の合計が2799万円、慶弔費10万円に予備費7万円ということで、当期の収支差額はゼロという予算になった。

次期繰越収支差額は2954万6906円、令和六年度に3000万円くらいの収支をキャリーオーバーできれば、ということを見込んでの予算である。

第一号議案・第二号議案については、一括で満場一致で可決・承認された。

第三号議案

その他
特になし。

上記議事録は、適切に記録されているものと認める。

議事録署名人 浅井 宏
議事録署名人 伊原 敏雄

令和4年度 連合駿台会 収支計算書

自: 令和4年4月 1日

至: 令和5年3月31日

(単位: 円)

収 入 の 部				実績摘要 (収入の部)
勘定科目	予算額	実 績	予算比	
年会費収入	14,200,000	14,930,000	105.1%	(一般)275名、(地方)64名 (新会員入会金)28名 × @30,000
例会費収入	4,000,000	5,860,000	146.5%	5月例…134名 7月例会…107名 9月例会…96名 11月例会…119名 サンセットクルーズ…46名 3月例会…118名 延合計620名 ※前期前受金34万円
広告費収入	900,000	920,000	102.2%	名刺広告代
雑収入	10,000	640	6.4%	みずほ普通預金・みずほ定期預金・ゆうちょ通常貯金利息
当期収入計	19,110,000	21,710,640	113.6%	
前期繰越収支差額	37,327,913	37,327,913	100.0%	
当期収入合計	56,437,913	59,038,553	104.6%	
支 出 の 部				実績摘要 (支出の部)
勘定科目	予算額	実 績	予算比	
I. 総務費				
(1) 家賃共益費	650,000	629,445	96.8%	紫紺館事務所家賃
(2) 人件費	2,200,000	2,242,000	101.9%	事務局関連業務委託費及び会報発行業務費
(3) 事務・通信費	1,000,000	1,029,691	103.0%	電話代(278,896円)/例会資料等発送費(約674,585円)/振込手数料ほか(76,210円)
(4) 備品消耗品	800,000	395,134	49.4%	文具代・飲物代ほか(189,258円)/発送用封筒・会員ネーム札作成&刷印代(119,460円)/名刺代(16,280円)/Wifi(64,636円)/その他(5,500円)
(5) 印刷費	1,000,000	1,183,926	118.4%	事務局コピー機リース代(119,536円)/コピー代ほか(504,390円)/名簿作成料(560,000円)
(6) 雑費	400,000	523,645	130.9%	事務局交通費等
総務費計(I)	6,050,000	6,003,841	99.2%	
II. 事業費				
1.各委員会運営費				
(1) 総務・事業委員会費	6,100,000	10,246,939	168.0%	例会会場費講師謝礼等(9,634,695円)/運営委員会等(353,990円)/諸経費(258,254円)
(2) 組織・会員増強委員会費	150,000	147,400	98.3%	例会補助(120,000円)/委員会費(27,400円)
(3) 広報委員会費	3,110,000	2,170,800	69.8%	会報発行費(1,310,000円)/HP運営業務委託費(約380,800円)/明大広報広告費(500,000円)
(4) 大学支援委員会費	3,200,000	2,789,164	87.2%	学術賞・奨励賞賞金+副賞ほか(1,529,900円)/寄付講座経費(600,000円)/学生支援プレゼン協賛金(240,000円)/シェアスタア(200,000円)/MBS勉強会(93,000円)/ホームカミング広告(100,000円)/委員会費(26,264円)
(5) 財務委員会費	80,000	63,500	79.4%	委員会費(63,500円)
各委員会運営費計	12,640,000	15,417,803	122.0%	
2.その他事業費				
(1) 慶弔費	100,000	70,000	70.0%	ご祝儀(40,000円)/香典(30,000円)
その他事業費計	100,000	70,000		
事業費計(II)	12,740,000	15,487,803	121.6%	
III. 予備費				
事業費計(III)	100,000	0		
当期支出合計(I + II + III)	18,890,000	21,491,644	113.8%	
当期収支差額	220,000	218,996	99.5%	
次期繰越収支差額	37,547,913	37,546,909	100.0%	

令和4年度 連合駿台会 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(流動資産)	55,547,979	(流動負債)	11,370
小口現金	447,250	源泉税預り金	11,370
みずほ銀行・普通預金	6,147,923		
ゆうちょ銀行・通常貯金	3,488,936	(正味財産)	55,546,909
みずほ銀行・定期預金	33,000,000	1. 有志寄付金	18,000,000
大和証券・M. M. F.	12,463,870	2. 次期繰越収支差額	37,546,909
(固定資産)	10,300		
電話加入権	10,300		
資産合計	55,558,279	負債・正味財産合計	55,558,279

令和4年度 連合駿台会 財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
1. 資産の部			
(1) 流動資産	55,547,979		
小口現金	447,250		
みずほ銀行・普通預金	6,147,923		
ゆうちょ銀行・通常貯金	3,488,936		
みずほ銀行・定期預金	33,000,000		
大和証券・M. M. F.	12,463,870		
流動資産合計		55,547,979	
(2) 固定資産			
電話加入権	10,300		
固定資産合計		10,300	
資 産 合 計			55,558,279
2. 負債の部			
(1) 負債の部			
源泉税預り金	11,370		
流動負債合計		11,370	
負 債 合 計			11,370
正 味 財 産			55,546,909

令和5年度 連合駿台会 収支予算

自: 令和5年4月1日

至: 令和6年3月31日

収 入 の 部		摘 要 (収入の部)
勘定科目	予算額	
年 会 費 収 入	16,200,000	* (一般) 300名 × @50,000円 = 15,000,000円、(地方) 60名 × @10,000 = 600,000円 (新入会員入会金) 20名 × @30,000 = 600,000
例 会 費 収 入	8,900,000	* 例会(回) … 100名 × 5回 × @10,000 = 5,000,000円 / 創立70周年記念特別例会 … 195名 × @20,000 = 3,900,000円
70 周 年 特 別 収 入	8,000,000	前期繰越収支差額取崩
広 告 費 収 入	1,000,000	名刺広告
雑 収 入	10,000	* 預金利息
当 期 収 入 計	34,110,000	
前 期 繰 越 収 支 差 額	29,546,909	
当 期 収 入 合 計	63,656,909	
支 出 の 部		摘 要 (支出の部)
勘定科目	金 額	
I. 総務費		
(1) 家 賃 共 益 費	650,000	* 紫紺館事務所家賃
(2) 人 件 費	2,200,000	* 事務局関連業務委託費及び会報発行業務費等
(3) 事 務 ・ 通 信 費	1,000,000	* 電話代/例会資料等発送費/振込手数料ほか
(4) 備 品 消 耗 品	500,000	* 発送用封筒代/文具代/会員ネーム札作成代ほか
(5) 印 刷 費	1,100,000	* 事務局コピー機リース代/コピー用紙代/名簿製作費ほか
(6) 雑 費	500,000	* 事務局交通費/資料代ほか
総務費計(I)	5,950,000	
II. 事業費		
1. 各委員会運営費		
(1) 総 務 ・ 事 業 委 員 会 費	20,300,000	例会費70周年特別例会、講師等謝礼(19,000,000円)/正・副会長費、運営委員会費(600,000円)/各種事業費(600,000円)/諸経費(100,000円)
(2) 組 織 ・ 会 員 増 強 委 員 会 費	150,000	委員会費(50,000円)/会員増強活動費(100,000円)
(3) 広 報 委 員 会 費	3,540,000	会報発行費(1,730,000円)/HPの管理・維持費(360,000円)/HPリニューアル関連経費(800,000円)/SMS運用費(100,000円)/大学支援広告費(500,000円)/委員会費50,000円
(4) 大 学 支 援 委 員 会 費	3,920,000	学術賞・学術奨励賞および副賞(1,900,000円)/寄付講座および諸経費(750,000円)/「学生対抗プレゼン大会」(仮称)副賞ほか費用(500,000円)/「留学生就職支援」関連費(200,000円)/大学行事協賛金(500,000円)/委員会費(70,000円)
(5) 財 務 委 員 会 費	80,000	委員会費(80,000円)
各 委 員 会 運 営 費 計	27,990,000	
2. その他事業費		
(1) 慶 弔 費	100,000	
そ の 他 事 業 費 計	100,000	
事業費計(II)	28,090,000	
III. 予備費		
予 備 費	70,000	
当 期 支 出 合 計 (I + II + III)	34,110,000	
当 期 収 支 差 額	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額	29,546,909	

令和5年度 例会日程予定表

年	月日・曜日	開始時間	会 場	講師・出演者等(予定)	備 考
令和5 (2023)	7月18日 (火)	17:30	ロイヤルパークホテル 「有明の間」	ノンフィクション作家 梯(かけはし)久美子氏	日経新聞紙上に 「この父ありて」を執筆
	9月14日 (木)	17:00	ホテルオークラ東京 「平安の間」	三遊亭小遊三師匠 エンターテインメント	創立70周年記念例会
	11月13日 (月)	17:30	明治大学「紫紺館」	東京スリバチ学会会長 皆川典久氏	NHKの街歩き番組 「プラタモリ」にも出演
令和6 (2024)	1月中旬～下旬	17:30	未定	学術賞受賞者 記 念 講 演	「駿台懇話会」 通常通り開催予定
	3月13日 (水)	17:30	ロイヤルパークホテル または 明治大学「紫紺館」	検 討 中	
	5月中旬	17:15	ロイヤルパークホテル または 明治大学「紫紺館」	未定	第70回通常総会総会

※ 秋期ゴルフ大会は、10月5日(木)、茨城ゴルフ倶楽部にて開催いたします。

※ 未定の例会例会詳細については、決まり次第ご連絡します。

※ 1月例会（駿台懇話会）は、大学側との調整もありますので、決まり次第ご連絡します。

令和5年度 連合駿台会運営組織表

(理 事 会) 《会長》 田村 駿				
《副会長》 山田 憲典 青柳 勝栄 山田 朝彦 畠中 君代 佐藤 健 徳丸 平太郎 向井 眞一 浅井 宏 栗原 権右衛門 中川 敏洋 三枝 富博 山本 良一 木下 唯志 西澤 豊 坂田 正弘 狩野 省市 佐野 公哉 草木 頼幸 池田 一義 河村 博 杵掛 英二 木村 健一 《特別顧問》 長堀 守弘 山口 政廣 北野 大 《顧問》 根田 哲雄 児玉 圭司 前川 一郎 坪 昭二 村田 嘉一 村岡 健 有賀 隆治 丸山 律夫 上西 紘治 岡本 満夫 鈴木 紘一 佐藤 仁 潮田 伊佐夫 大原 幸男 並木 洋一		運営役員 《専務理事》 当山 明彦 《常務理事》 齊藤 柳光 高澤 徹 伊原 敏雄 吉田 光一郎 鈴木 隆志 《常任理事》 長谷川 進一 平田 静子 杉浦 伸二 松崎 優子 眞壁 八郎 宮下 隆 高橋 郁夫 栢森 靖 古賀 慎一郎 大野 正美 安達 明正 室井 恵明 相臺 志浩 《理事》 小島 清治 富流水 孝二 青木 幹則 関根 均 大前 実之 二井 康夫 馬場 範夫 樽見 俊之 奥村 勝広 弓野 理恵 林 威樹 阿部 倫明 辻井 知明 古本 英樹 大石 哲也 中根 武 鬼塚 和也 谷原 誠 根田 吉雄 塙 英幸 山口 大介 水澤 元博 神林 光 泉山 和久	<総務・事業委員会> 委員長 鈴木 隆志 副委員長 杉浦 伸二 宮下 隆 大野 正美 室井 恵明 担当委員 辻井 知明 中根 武 鬼塚 和也 塙 英幸 山口 大介 水澤 元博 神林 光 ・例会の運営、講師などの交渉 ・新年会、バス旅行、オープンゴルフ会など親睦活動の開催 ・その他、大学関係のイベントへの参加奨励など 《組織・会員増強委員会》 委員長 高澤 徹 副委員長 長谷川進一 栢森 靖 担当委員 関根 均 二井 康夫 馬場 範夫 樽見 俊之 奥村 勝広 古本 英樹 ・新会員増強のため種々のプログラム実施 ・新会員入会審査 ・長期的に見た会員入会基準のスタディと新提案 《広報委員会》 委員長 齋藤 柳光 副委員長 平田 静子 相臺 志浩 担当委員 弓野 理恵 大石 哲也 根田 吉雄 泉山 和久 ・会報の発行並びに編集 ・ホームページの維持・管理 ・会員間の情報交換を促進 《大学支援委員会》 委員長 伊原 敏雄 副委員長 眞壁 八郎 高橋 郁夫 安達 明正 担当委員 小島 清治 富流水孝二 大前 実之 林 威樹 阿部 倫明 ・大学が求める支援プログラムについて個々に検討、支援の実施 ・学術賞の報奨金、対象者などについて効果的な支援策の検討 ・寄付講座など大学への諸行事の支援プログラムの計画・実施 《財務委員会》 委員長 吉田光一郎 副委員長 松崎 優子 古賀慎一郎 担当委員 谷原 誠 ・入会金、年会費、広告料など、当会資産の管理 ・当会資産の活用方法について協議、使途などの提案 ・新しい大学支援システムなどへのアドバイス 《運営委員会》… 会長・専務理事・各委員長 ・各委員会活動状況に関する、情報シェアおよび意見交換 ・連合駿台会全体の活動についての提案と討議	
			《監事》 小山 修 渡邊 建三	1. 理事会 … 会長・副会長・専務理事・常務理事・ 常任理事・理事・特別顧問・顧問・監事 2. 各委員会 … 委員長は常務理事、副委員長は常任理事、 担当委員は理事 3. 必要に応じて正・副会長会議を開催することができる

令和5年5月19日 現在

※ 一部メンバーが退会されています

連合駿台会五月特別例会

「私の原点」

元ヤクルトスワローズ選手

明治大学野球部出身 広澤 克実氏

※講演の主旨は以下の通りです。

*

「明治野球」といえば、私にとっては島岡吉郎監督を忘れるわけにはいきません。ご承知のように一九五二年から一九八八年まで明大野球部の指揮を執り、学生たちから「御大」と呼ばれ、尊敬され愛された人物です。

ダグアウトから「なんとかせい！」と選手



広澤 克実氏

たちに檄を飛ばすことでも知られ、教えた方には高田繁、星野仙一、平田勝男ら、大先輩の面々が並んでいます。

私は母校・栃木県立小山高校の先輩が早稲田に進学していたので、早稲田を受験しようと思っていたのですが、その前に明治のセレクションがありまして、甲子園にも出場していないのに、どういうわけかそこでホームランを連発して、御大から「早稲田に行くな、ウチに来い！」ということになりました。

御大は四年生を中心にチームを作ることが基本方針。そして投手陣は、『二〇〇〇球』投げ込みを命じられていました。キャッチャーの後ろで御大がカウントするんですが、寝てしまうんですよ、ご本人が（笑）。すると、ちゃんと投げてるのに、「まだ六〇〇球だ！」とか、怒られて。そのうち、キャッチャーの方も心得てきて、「ナイスボー！」とか言う『エア投げ込み』で球数を稼いでいましたね（笑）。

とにかく早稲田と慶応に勝つ、そこに御大はこだわっていました。早稲田に負けるじゃないですか、すると夜中の二時くらいに、御大の泣き声が聞こえてくるんです。そうすると上級生がガバツと起きて、そこから練習ですよ。そのうち日の出の時間を迎えて、御大が「ご来光！ ご来光！」と東の空を拝むんです。それで朝まで練習して、するとその日

は勝っちゃったりするんです（笑）。

島岡御大の厳しくも愛情あふれる指導の数々は今でも語り草になっており、その人生はテレビドラマにもなったほどです。ただ「早慶に落ちて明治に来た」なんて、絶対に言えません。明大野球部の存在意義は早慶を倒すことにある、という信念を持って生きていた人ですから。だから、その両校に負けた時の島岡御大の闘争心、怒りのすさまじさは、今でも忘れられません。

特に私が三年生の時に、選手たちが凍り付くともない大事件が起きました。

明大野球部の練習は、一年生がセンターボールに「M」の旗を掲げてから始まります。しかしそんなある日、まだ寝ぼけまなごだった下級生が、その旗を上下逆さまにしたまま掲げてしまい、明治の「M」がよりによって御大の嫌いな早稲田の「W」になってしまったんです。これが有名な『Wの悲劇』という事件です。僕がいた中で一番大きな事件でした。もう一年生から四年生まで全員、真っ青になりました。大変なことが起きてしまった……と。島岡御大もこの「W」になってしまった旗を目にしたはずですが、御大が何を言ったかは覚えていません（笑）。

下級生時代は練習の辛さや人間関係から、何度も辞めようと思ったことがありましたが、平田勝男先輩が部屋に呼んで蕎麦などをごち

そうしてくれ、「食べたたら街にでも遊びに行つて来い、夜まで帰つてこなくていいぞ」と気を遣つてくれて、涙が止まらなかつたこともありました。活躍へのチャンスは、紺白戦（明大では紅白戦のことをこう呼びます）のメンバーに入れなかつた時、御大の横で監督用の焚き火と焼き芋の番をしていたところ、御大から「お前打つてみる！」といきなり代打に指名されたことでした。ここで快打を飛ばし、即ベンチ入りが決まった時は、本当に嬉しかったですね。

東京六大学リーグでは一九八三年春季リーグでは史上二人目の二シーズン連続首位打者を獲得した他、四試合連続本塁打のリーグ新記録を達成し、二年ぶりの優勝に貢献できました。また翌一九八四年にはロサンゼルスオリンピックで野球日本代表チームの一員として出場、決勝戦で本塁打を打ちまして、金メダル獲得に貢献でき、同年の秋季リーグでも在学中三度目の優勝を飾ることができました。名物監督の指導を直接受けられたことは大変恵まれていたと思います。昨今、「島岡監督再評価」というべきか、「島岡野球とは、どんなものだったか？」と振り返る声も聞かれますが、島岡野球の精神性はいまのチームにも受け継がれ、明治大学野球部は昔も今も日本球界に独自の地位を占めていると思っております。

◆新入会員ご紹介

前会までの理事会で承認され、入会された方をご紹介します。（敬称略・到着順）



安田 信幸
昭和三十八年・商学部卒
（株）UI銀行
代表取締役社長
東京都世田谷区在住



牧内 英樹
平成二年・政経学部卒
豊鋼材工業（株）
代表取締役社長
福岡県福岡市在住



国京 紘宇
平成二年・政経学部卒
（株）ナルミヤ・インターナショナル
代表取締役執行役員社長
千葉県松戸市在住



石川 清成
昭和五十八年・政経学部卒
西尾信用金庫・理事長
愛知県碧南市在住



早川 周作
平成十三年・法学部卒
琉球アスティーダスポーツクラブ（株）
代表取締役会長
沖縄県豊見城市在住

◆退会会員

（令和四年四月～令和五年三月）

池田泰弘、大野嗣男、大橋重男、荻部彰夫、熊崎勝彦（故人）、駒田一郎、佐藤和正、鈴木明人、竹中宗嗣（故人）、田中義之、鈴木幹男、西山武夫、二宮充子、堀和子（故人）、益子哲郎、三原清正（故人）、向井良平、山田幸夫、吉田武

◆明大ニュース

●国家公務員総合職試験

過去最高の四十九人が合格

人事院は六月八日、中央省庁の幹部候補を目指す国家公務員採用総合職試験の二〇二三年度最終合格者を発表した。明治大学からは過去最高の四十九人（前年度三十四人）が合格、全国の大学で十二位、私立大学では五位という結果になった。

明大の合格者の試験区分別内訳は、院卒者試験で「行政」「人間科学」「農業科学・水産」で各二人、「工学」一人の計七人。大卒程度試験で「政治・国際」十四人、「農業科

学・水産」九人、「経済」六人、「法律」四人、「森林・自然環境」三人、「工学」「化学・生物・薬学」「農業農村工学」で各二人の計四十九人だった。

二〇二三年度試験の申込者数は一万四千三百七十二人（前年度比九百五十八人減）、合格者数は二千二十七人（同百五十四人増）で、倍率は七・一倍（同一・一ポイント減）となった。

今回の結果を受け、行政研究所所長の西川伸一（政治経済学部教授）は、「駿河台の行研生の大健闘はもちろん、ようやく生田キャンパスの学生にも公務員という進路があることが浸透してきたことが大きい。まだ伸びしろはある」とコメントした。

●東京六大学野球春季リーグ

硬式野球部が三季連続四十三回目の優勝

体育会硬式野球部は五月十四日、東京六大学野球春季リーグ早稲田大学二回戦に6―3で勝利し、三季連続となる通算四十三回目の優勝を決めた。本学のリーグ三連覇は一九三七年春・秋・一九三八年春以来、八十五年ぶりの快挙となった。

勝利すればリーグ優勝が決定するこの試合、一回裏に4番上田希由翔主将（国日4）が適時二塁打を放つなど3点を先制。4―0とリードを広げて迎えた六回表には3点本塁打

を被弾し1点差とされるも、八回裏には小島大河選手（政経2）の2点本塁打で追加点を挙げる。投手陣は一本の本塁打以外に失点を許さず、被安打3で早稲田打線を封じて6―3でゲームセット。

翌週以降に対戦カードを残すものの、勝ち点と勝率で本学の優勝が決定した。なお、翌週の立教大学戦でも勝ち点を挙げ、勝ち点5の完全優勝を達成した。

硬式野球部は、六月五日から始まる第七十二回全日本大学野球選手権大会に東京六大学野球連盟代表として出場。日本体育大学、仙台大学、白鳳大学すべてに完封勝利をおさめて決勝戦に出場したが、青山学院大学（東都大学連盟代表）に4―0で敗れて、惜しくも準優勝となった。

●私立大学等経常費補助金

明大は約二十七億円、全国十八位

日本私立学校振興・共済事業団は、二〇二二年度の私立大学等（私立の大学・短期大学・高等専門学校）に対する「私立大学等経常費補助金」の交付状況を発表した。本学への交付額は27億4690万8000円となり、順位は全国十八位だった（前年度十四位）。

私立大学等経常費補助金は、①私立大学等（私立の大学・短期大学・高等専門学校）の教育研究条件の維持向上、②学生の修学上の

経済的負担の軽減、③私立大学等の経営の健全性向上に資するため、日本私立学校振興・共済事業団が国から補助金の交付を受け、これを財源として全額、学校法人に対して設置学校の経常的経費について補助するものである。

この補助金には、各学校における教職員数や学生数等に所定の単価を乗じて得た基準額を教育研究条件の状況に応じ傾斜配分する「一般補助」と、教育研究に関する特色ある取り組みに応じ配分する「特別補助」がある。

二〇二二年度の私立大学等経常費補助金の交付状況を見ると、交付学校数は八百五十五校、交付総額は2980億746万4000円であり、内訳では一般補助2766億2422万3000円、特別補助213億8324万1000円となっている。

このうち私立大学には、2832億3021万6000円が交付されている。交付額を大学一校当たりに換算すると4億8581万5000円で、学生一人当たり14万2000円となる。

二〇二二年度は、特色ある教育の展開、特色ある高度な研究の展開、地域社会の発展への貢献、社会実装の推進といった改革に全学的・組織的に取り組む学校に対する支援を強化するため、「私立大学等改革総合支援事業」として、二百五十二校に対し増額配分（一般

補助および特別補助の内数)が行われた。なお、本学はタイプⅢ(地域社会の発展への貢献・地域連携型)およびタイプⅣ(社会実装の推進)での選定となった。

本学への交付額の27億4690万8000円のうち、一般補助は23億6861万2000円、特別補助は3億7829万6000円であった。

国から経常費補助金として財政支援を受けている大学は、社会の要請にこたえるべく、教育・研究体制を構築していかなければならない。本学においても、グローバル社会で活躍できる人材の育成、研究成果の発信等による地域・社会との連携を中心に、緩みなく改革に取り組み、さらなる補助金の獲得を目指し積極的な展開を図っていく。

●合同就職キャリア支援イベントを開催

政経・文・情コミの三学部学生

二千二百五十人が参加

政治経済・文・情報コミュニケーションの三学部合同の就職キャリア支援イベントが、六月十日に駿河台キャンパス・リバティタワーで開催された。来春の就職活動を控えた3年生を中心に、三学部の学生約二千二百五十人(延べ人数)が参加した。

イベントは多くの学生が参加できるよう、授業の設置の少ない土曜日に実施され、就職

情報サイト大手の(株)マイナビと(株)ツインゲから担当者を招いて自己分析講座や業界比較セミナーなどを開講するとともに、各学部の卒業生を招いたOB・OG交流企画が催された。

OB・OG交流企画では、公務員から金融、マスコミ、商社、インフラ系など幅広い業種の卒業生を招いたパネルディスカッションが開催された。学部別に会場を分け、卒業生らは現役学生に向けて、それぞれの仕事内容の紹介や就職活動の体験談などをテーマに議論を行った。同じ学部の先輩・後輩という関係性から質疑応答などでも率直な意見を述べ、学生らはメモを取るなどして自身のキャリア選択への情報収集を行った。

参加者アンケートでは、「先輩方の話を聞いて、学部での学びの生かし方についてイメージできたので良かった」「自分がどのようになろうと大学生活を過ごしていくか考えるきっかけになった」といった声が寄せられ好評な様子だった。

この企画は、二〇二二年十一月に文学部が開催した自学部学生を対象とした就職キャリア支援イベントを発端として、その対象を三学部に拡大して行われたもの。担当した文学部の職員は、「今回も、学部での学びが社会に出て生きていることを、卒業生からの生の声として伝えられた」と述べ、就職キャリア支援部とも協力しながら、学生のキャリア

教育の充実に向けたさらなる取り組みを行っていききたいとの意向を示した。

●OB社長

▽マックス(株)小川辰志氏(一九八八年工学部卒・五十八歳)

▽(株)サガテレビ指山弘雄氏(一九九二年経営学部卒・五十四歳)

●博物館

明大生が使える「美術館・博物館会員制度」広報活動を各キャンパスで展開

博物館学生広報アンバサダーは、明大生が使える「美術館・博物館の会員制度」と五月二十七日に開幕した企画展「東国の古墳文化の実像を求めて―大塚初重と明大考古学―」(会期:八月七日まで)の広報活動を四キャンパス(駿河台・和泉・生田・中野)で行った。

明治大学は、国立美術館キャンパスメンバーズ、国立科学博物館大学パートナーシップ、東京国立博物館キャンパスメンバーズおよびニュースパーク(日本新聞博物館)会員に加入しており、所属学生は学生証の提示により、入館無料や割引などの特典を受けることができる。当日、チラシを受け取った学生からは、「日本を代表する博物館や美術館に無料で入館することができるので利用してみ

たい」といった声が聞かれた。また、明治大学の公式キャラクター「めいじろう」も駆け付け、企画展のポスターパネルと共に多くの学生が記念撮影をして、盛り上がりを見せた。

●端艇部

全日本ローイング選手権で男子舵手付きフォアが優勝

体育会端艇部は五月十八日～二十一日、海の森水上競技場（東京都江東区）で開催された第一〇一回全日本ローイング選手権大会に出場し、男子舵手付きフォア（金澤遙叶〈商3〉、上戸慧太〈法3〉、中條扇之介〈商3〉、松川颯佑〈法3〉、鹿川豪太〈農2〉）が優勝した。

大会最終日に行われた同種目決勝では、中部電力など社会人チームも出場する中、二位の日本大学と一・六一秒差の僅差を制し、見事日本一に輝いた。さらに、女子舵手付きフォアと男子クオドルプルが二位、軽量級女子ダブルスカルが三位に入賞した。

優勝した松川選手は、「クルーを組んで二週間という短い期間だったが、優勝できてとてもうれしい。関係者の皆さんがALL M E I J Iで関わってくださったおかげ」と笑顔を見せた。同部の星遼監督（二〇一六年大学院政治経済学研究科修了）は、「ローイングの速さには個々の能力はもちろん、複数人

でのクルーでは動きや意識の同一性なども求められる。この結果を弾みに、チーム全体で改めて目標を統一・共有して九月の全日本大学ローイング選手権（インカレ）に臨みたい」と意気込みを語った。社会人チームも参加する今大会での多数上位入賞を足掛かりに、端艇部はインカレでの男女総合優勝を目指す。

●少林寺拳法部

関東学生大会五部門で優勝

体育会少林寺拳法部は、五月四日に日本武道館（千代田区）で開催された第六〇回少林寺拳法関東学生大会に出場した。組演武、三人掛、単独演武、立合評価法など二十六種目に分かれて技術度・表現度の審査項目で競い合う同大会で、段位別で行われる種目の中の最高段位四部門を含む全五部門で優勝した。一位に入賞したのは、組演武・男子三段以上、女子三段以上、男女二段以上、男女白帯緑帯の四部門と、男子単独有段の部。その他の種目でも多数上位に入賞し、団体および男子総合二位という結果を収めた。

男子三段以上で入賞した主将の神嵩真季選手（政経4）は、「部員一人ひとりが日々の積み重ねを大切にしていたからこそ結果に結び付いた。本年度の目標である全日本総合優勝に向けて精進していきたい」と喜びのコメントを寄せた。

●射撃部

全日本選手権二種目で野畑選手が優勝

関東学生春季大会で男女団体同時優勝も

体育会射撃部は、五月十九～二十一日にかけて栃木県ライフル射撃場で開催された二〇二三年度全日本ライフル射撃競技選手権大会（10mAIR AP）オリパラ男女混合共生大会に出場し、女子エアライフル立射60発競技、男女混合エアライフル立射60発ファイナルの二種目で野畑美咲選手（商2）が優勝した。

女子エアライフルでは、野畑選手のほか、七位に三浦莉桜選手（商3）、十位に泉館玲香選手（国日4年）、さらに校友で同部出身の平田しおり選手が二位に入賞し、トップ10に明治大学関係者が四人入賞する結果を残した。また、男女混合ファイナルでも、一位に野畑選手、二位に平田選手が入賞した。

また、射撃部は二〇二三年度関東学生スポート射撃選手権春季大会においても、男子団体および女子団体でそれぞれ優勝し、二期連続での男女同時優勝を果たした。同大会では、大塩勇斗選手（政経4）が二種目で優勝するなど、個人でも優秀な成績を収めた。同部の津場恭平監督は、「シーズン初戦の今大会で男女共に総合団体優勝できたことは価値がある。個人でも多くの部員が入賞し、この流れを断ち切らないよう気を引き締めていきたい」と喜びのコメントを寄せた。



経済、法曹、文化など各界でご活躍の明治大学OB諸氏よ！
来たれ！「連合駿台会へ！」

「連合駿台会」は、1953年に設立された「茗水クラブ」と、1964年に設立された「明友クラブ」が2002年に統合して設立された歴史あるOB組織です。

去る5月19日に、第69回連合駿台会通常総会と5月例会を、ロイヤルパークホテル「春海の間」にて開催いたしました。通常総会では、令和4年度事業報告書、決算報告、令和5年度事業計画案・予算案が承認されました。

続いて開催された5月例会では、明治大学

硬式野球部出身で元ヤクルトスワローズ選手の広澤克美氏（1986年文学部卒）に、「私の原点」と題してご講演いただきました。明治大学野球部での島岡吉郎監督との出会いや厳しくも愛のある数々の指導のエピソードなど、参加者一同が引き込まれ、抱腹絶倒で笑いの絶えない楽しいお話をいただきました。



広澤 克実 氏

各界で活躍されておられる明治大学校友のご入会を歓迎いたします

資料のご請求はこちらまで

聯合駿台會事務局

TEL : 03-3296-4747 FAX : 03-3296-4748 HP : <https://www.rengosundaikai.jp>
Email : rengousundaikai@silk.ocn.ne.jp

★明治大学広報(7月1日号)に掲載された大学への支援広告。今後も2ヵ月に1回掲載していく予定です。

◆三月例会出席者

青木幹則、青柳勝榮、秋谷勝俊、淺井宏安達明正、阿部倫明、池田一義、伊東正博、同、同伴、猪田忠、伊原敏雄、岩田守弘、岩永省一、上西紘治、宇川一夫、潮田伊佐夫、梅野修、大澤健太郎、太田良治、大竹卓也、大野正美、大原幸男、大前実之、大村託現、奥住賢二、鬼塚和也、狩野省市、栢森靖、河村博、清野明男、國井泰成、久保聡、小井戸亮文、小島清治、同、同伴、児玉圭司、小松健、小山修、小山有彦、根田哲雄、齋藤柳光坂本道昭、佐藤仁、佐藤陽子、佐野公哉、佐野直人、澤野太嘉嗣、柴田清之、進藤健一、杉浦伸二、鈴木啓太、鈴木紘一、鈴木隆志、関根均、高澤徹、田口幸隆、田代恭一（代理）田中等、田村駿、田村健、樽見俊之、辻井知明、当山明彦、富田浩志、富水流孝二、永井伸彦、中里猛志、中野祥宏、中村康一、中村豊、西澤豊、根岸伸明、野口一哉、萩原裕次、長谷川進一、畠中君代、塙英幸、馬場範夫、濱田憲孝、飛彈健一、深代尚夫、同、同伴、福田和彦、藤代耕一、古本英樹、真家裕介、槇野泰、同、同伴、松崎優子、三浦栄治、向井眞一、村岡健、村山友彦、室井恵明、本橋尚樹、山口大介、山口政廣、山田朝彦、山根俊明、弓野理恵、吉田光一郎、吉田均、渡邊渡邊能宏

【編集後記】

蒸し暑い日が続いておりませんが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

今年の五月から新型コロナウイルスの分類が2類から5類に移行で、季節性インフルエンザと同等の扱いとなり政府や自治体からの行動制限が無くなりました。飲食業や観光業では少しずつ経済活動が活発化し、街中にも人手が増えてきました。円安の後押しもありインバウンドの需要も急激に伸び、特に外国人観光客を歓迎するようになり、これでやっと景況は回復するのかと思っていました。

ところが一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や、円安も影響し燃料費や物価上昇がさらに進んで、今年に入ってから何度も値上げを繰り返しています。私の携わる不動産業界でも物価上昇や人手不足による人件費高騰、工期の遅延などの影響から、工事費が極端に上がり販売価格が高騰しています。また、建設業では猶予されてきた働き方改革による週休二日や残業の規制などが影響し、来年には工事費がさらに高騰するといわれています。

一部ではベースアップで給料が上がつているニュースを聞きますが、一般的に給料は上がらず、それ以上に物価が上昇し家計への負担は増すばかりです。最近のお中元の人気商品はサラダ油等の生活に役立つ商品が、ふるさと納税のでは、「訳あり商品」が人気だそうです。今後、さらにインフレが進むと、現金はその資産価値が目減りしてしまうことから、「現金からモノ」にした方が良いそうで、金や不動産、株式や債券などの金融商品に交換することが有効だそうです。

このような将来の不安に対して、少しでも資産を減らさない、少しでも運用で増やすなど、独自の防衛策が必要となります。

(根田吉雄)